

平成22年度 一般会計 予算見積 事業別概要書(当初)

款	9. 教育費	事業名	9. 国際理解促進費		
項	5. 社会教育費	細事業名	1. 国際理解促進費		
目	1. 社会教育総務費	担当課・係	文化課	(執行課: 文化課))

予算分析	臨時経費	継続事業	単独事業								(単位: 千円)	
	(歳入)	(歳出)	財源内訳									一般財源
要求額	0	2,047	要 求									2,047
決定額			決 定									

実施計画の内容	(実施計画における事業の概要)	施 策	英知を伝え、心豊かに明日を育むまちづくり/すべての市民の人権を尊重するまちづくり/佐倉日蘭協会の活動を支援						
	【佐倉日蘭協会の支援に関する業務】	施策体系コード	03-01-03-30-20			事業番号	1-1		
	佐倉オランダ児童交流事業・オランダゆかりの地巡り・オランダ語	総事業費	9,815千円			事業期間	平成18年度～平成22年度		
	講座・オランダ事情講演会などの実施	年度別事業費	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度		
			1,777	2,138	1,777	2,076	2,047		

(事業実施に関する根拠法令)
 佐倉市補助金に関する規則
 佐倉日蘭協会助成補助金交付要綱

< 事業に関する説明 >

(事業の説明) 歴史的なつながりのあるオランダと佐倉の国際交流を推進することを目的として設立された佐倉日蘭協会の活動支援。 佐倉とオランダの子どもの児童交流事業を中心に、市民を対象としたオランダや蘭学に関する各種事業の支援を行う。	(事業の目的) 佐倉日蘭協会が行う様々なオランダ関連事業の支援を行うことにより、市民レベルでの国際交流や、異文化理解を推進する。	(事業の効果) オランダとの国際親善が深められ、また、市民の国際感覚の涵養と異文化理解の推進に寄与している。
(事業実施上の問題点) 佐倉日蘭協会の中心事業である児童交流事業にかかる経費が多額であるため、財源の確保が難しく、年々事業を縮小せざるを得ない状況にある。	(前年度からの見直し点) 特になし	(見積についての特記事項) 平成元年度から行われている児童交流事業は、国際交流推進の柱となっており、これを継続して実施するためには、市補助金は不可欠である。近年、原油高騰やユーロの上昇によって、旅費が大幅に上昇している。